N8151-75
内蔵AIT

取扱説明書

製品をご使用になる前に必ず本書をお読みください。本書は熟読の上、大切に保管してください。

商標について

Microsoftとそのロゴ、およびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Advanced Intelligent Tapeはソニー株式会社の商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system、Microsoft® Windows® 2000 Server operating system、およびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating systemの略称です。

Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略称です。

Windows XP x64 Edition は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemの略称です。

Windows Server 2003は、Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition operating system、Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition operating system、Microsoft® Windows Server™ 2003 Datacenter Edition operating system、およびMicrosoft® Windows Server™ 2003 Web Edition operating systemの略称です。

Windows Server 2003 x64 Editions は、Microsoft Windows Server™ 2003, Standard x64 Edition operating system および Microsoft Windows Server™ 2003, Enterprise x64 Edition operating system の略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

Für kunden in Deutshland
Diese Ausrüstung erfüllt die Europäischen EMC-Bestimmungen für die Verwendung in folgender / folgenden Umgebung(en):
- Wohngegenden
- Gewerbegebiete
- Leichtindustriegebiete

(Diese Ausrüstung erfüllt die Bestimmungen der Norm EN55022, Klasse B.)

사용자 안내문

이 기기는 가정용으로 전자파 적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

기기의 명칭（모델명） : SDX-1100
인증받은자의 상호 : SONY KOREA Corp.
제조년월일 : 별도표시
제조자／제조국가 : SONY CORP./일본,중국

ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2） 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3） 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
（4） 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
（5） 運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

⚠ 使用上のご注意 ～必ずお読みください～

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本書にはどこが危険か、どのような危険に遭うのか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
本書、および警告ラベルでは危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されます。

人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

記号	名称	説明	例
△	**注意の喚起**	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	（例）（感電注意）
⊘	**行為の禁止**	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	（例）（分解禁止）
●	**行為の強制**	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	（例）（プラグを抜け）

（本書での表示例）

注意を促す記号　危険に対する注意の内容　危険の程度を表す用語

⚠ 注意	
	電源がON のまま取り付け・取り外しをしない 本体装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続しているACコードをコンセントから抜いてください。ACコードがコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

記号	内容	記号	内容
	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	高温による障害を負うおそれがあることを示します。		

行為の禁止

記号	内容	記号	内容
	特定しない一般的な禁止を示します。		本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。

行為の強制

記号	内容	記号	内容
	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御を目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産被害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本体装置の電源をOFFにしてACコードをコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔やカートリッジ挿入口から金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

注意

製品内に水や異物を入れない

製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐに本体装置の電源をOFFにしてACコードをコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社に連絡してください。

電源・ACコードに関する注意事項

⚠警告

ぬれた手でDCケーブルを持たない

ぬれた手でDCケーブルの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

⚠注意

電源がONのまま取り付け・取り外しをしない

本体装置への取り付け・取り外しの際や、周辺機器との接続の際は必ず主電源に接続しているACコードをコンセントから抜いてください。ACコードがコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

中途半端に差し込まない

DCケーブルはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の接続をしない

DCケーブルの接続や配線は本書の説明に従って正しく行ってください。指定以外の接続や配線は火災や感電の原因となるおそれがあります。

破損したケーブルを使用しない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。

指定以外のケーブルを使用しない

本体装置と接続するケーブルは当社指定のものを使用し、接続先をよく確認してください。指定以外のケーブルを使用したり、指示とは異なる接続のまま使用したりすると火災を引き起こすおそれがあります。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

⚠ 注意

通気孔をふさがない

本製品の前面にある通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、誤動作の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け／取り外しは本体装置のACコードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしてもACコードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ネジ止めなどのロックを確実に行ってください。

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。
また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。製品内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。
もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

⚠注意

高温注意

本体装置の電源をOFFした直後は、内蔵型のハードディスクなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。

お手入れに関する注意事項

⚠警告

自分で分解・修理・改造はしない

本製品の分解や、修理・改造は絶対にしないでください。製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

本製品でお客様が行える分解は次の作業のみです。
次に記述する以外の分解は絶対にしないでください。

- ブラケットの取り外し／取り付け
- DC・信号ケーブルの取り付け／取り外し

プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れは、本体装置の電源をOFFにして、ACコードをコンセントから抜き、本製品のDCケーブルを抜いてください。たとえ電源をOFFにしても、ACコードを接続したまま製品内の部品に触ると感電するおそれがあります。

⚠注意

中途半端に取り付けない

DCケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

⚠注意

カートリッジ挿入口に手を入れない

カートリッジ挿入口に手を入れないでください。手を挟まれたり、巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、本製品内蔵の本体装置には、触れないでください。感電の原因となります。

ペットを近づけない

本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が製品内部に入って火災や感電の原因となります。

近くで携帯電話やPHS 、ポケットベルを使わない

本製品のそばでは携帯電話やPHS 、ポケットベルの電源をOFF にしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

正しく動作させるために

本製品を正しく動作させるために、次の点について注意してください。
AITデータカートリッジの取り扱いに関する注意事項については、「AITデータカートリッジ」の章を参照してください。

- **本製品のSCSI IDとその他のSCSI機器のSCSI IDが重複しないように設定してください。**

  → 誤動作の原因となります。

- **本製品前面にあるTAPE MOTION LEDが点滅しているときに本体装置の電源をOFFにしないでください。**

  → 故障、およびバックアップデータの破損の原因となります。

- **腐食性ガスの発生する場所、薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所に保管しないでください。**

  → 部品が変形したり傷んだりして正常に動作しなくなるおそれがあります。

- **強い振動の発生する場所に保管しないでください。**

  → 故障の原因となります。

- **本製品にセットするデータカートリッジには、当社製の「AITデータカートリッジ」(EF､N型番品)を使用してください。**

  → 当社製以外のデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーを起こすことがあります。

- **定期的にクリーニングを実施してください。**

  → クリーニングについては、「クリーニング」(50ページ)を参照してください。

- **本製品のクリーニングには、当社製の「AITインテリジェントクリーニングカートリッジ(型番: EF-3237W)」を使用してください。**

  → 当社製以外のクリーナーを使用すると故障の原因となることがあります。

- **本製品には、「EF-3237J, EF-3237U AIT クリーニングカートリッジ」は使用できません。**

  → クリーニングについては、「クリーニング」(50ページ)を参照してください。

- **カートリッジを入れたままでの移動はやめてください。**

  → 衝撃が加わったとき、製品やカートリッジを傷める原因となります。

- **バックアップ完了後は、カートリッジを取り出してください。**

  → カートリッジの寿命が短くなったり、誤動作の原因となるおそれがあります。

本書について

本書は、N8151-75 内蔵AITを正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。内蔵AITのセットアップを行う場合や日常使用する上で、わからないことが起きたときにご利用ください。

本書は、内蔵AITを安全に、正しくお使いになるための事柄(セットアップや日常の取り扱いおよび保守)と内蔵AITで使用できるカートリッジ「AITデータカートリッジ」を正しくお使いになるための事柄(取り扱い方法や保管方法)の2つの章から構成されています。

はじめて取り扱うときの読み方

本製品を梱包箱から取り出して、はじめて取り扱うときは次の順序で本書を参照して、セットアップをしてください。

1. 箱の中身を確認する .... 箱の中身について(→14ページ)
2. 取り扱う上での注意事項を覚える .... 使用上のご注意(→3～9ページ)
3. 内蔵AITの部品の名前を覚える .... 各部の名称と機能(→19～21ページ)
4. 取り付け前の設定をする .... セットアップ(→21～26ページ)
5. 本体装置に取り付ける .... セットアップ(→27～29ページ)
6. ドライバをインストールする* .... テープドライバのインストール(→30～44ページ)
7. カートリッジの取り扱い方法を覚える .. AITデータカートリッジ(EF、N型番品)について(→52～57ページ)
8. カートリッジをセットする .... 取り扱い(→46～49ページ)
9. LED表示を確認する .... 取り扱い(→49ページ)
10. 内蔵AITをクリーニングする .... クリーニング(→50～51ページ)

* Windows 2000、Windows XPおよびWindows Server 2003の標準バックアップを使用する場合のみ

データの保存のしかたやデータの保存形式などの設定については、バックアップソフトに添付の説明書を参照してください。

本文中の記号について

本文中では、次の記号を使って運用上の注意やヒントを示しています(安全上の注意事項に関する記号については巻頭の説明をご覧ください)。

記号	説明
重要	製品の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

その他

第三者への譲渡について

本製品または本製品に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

●本製品本体について

本製品を第三者へ譲渡(または売却)する場合は、本書を一緒にお渡しください。

●その他の付属品について

その他の付属品もセットアップするときなどに必要となりますので、一緒にお渡しください。

重要

テープ内のデータについて

使用していたテープに保存されている大切なデータ(例えば経営情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないように、お客様の責任において確実に処分しておいてください。
このようなトラブルを回避するために使用しているバックアップソフトでデータを完全消去し、確実にデータを処分することを強くおすすめします。データの消去についての詳細はバックアップソフトの取扱説明書をご参照ください。
なお、データの処分をしないまま譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

●添付ソフトウェアについて

本製品に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと。各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。

消耗品・製品の廃棄について

本製品、およびカートリッジの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

製品寿命について

本製品の製品寿命は5年です。

保証について

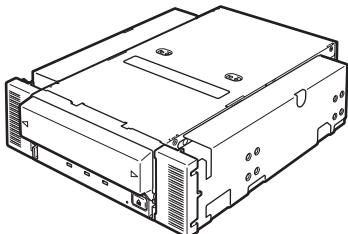
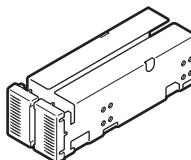
本製品には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無料修理いたします。詳しくは『保証書』をご覧ください。

保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたはNECの保守サービス会社に連絡してください。

本製品に対し保守契約を結ばれたお客様へ
　本製品の保守停止時期は、製造打ち切り後5年になります。

箱の中身について

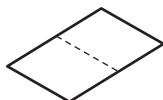
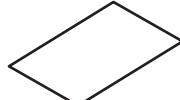
N8151-75 内蔵AITの梱包箱の中には、内蔵AIT本体以外にいろいろな付属品が入っています。下図を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

□ N8151-75

□ CD
（取扱説明書、デバイスドライバ）

□ クリーニング
カートリッジ

□ ネジ(4本)

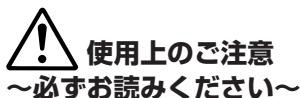
※ 本製品を本体装置に取り付けるときのみに使用します。

□ 保証書

□ AIT製品
取り扱いについて

□ スタートアップガイド

重要

- 梱包箱や箱の中に入っていた固定用部材は、本製品を取り外して輸送する際に必要となります。大切に保管しておいてください。
- 接続する環境によっては使用しない部品がありますが、環境が変わったときなどに使用する可能性がありますので、大切に保管してください。
- 添付のCDのバックアップをとってください。また、添付のCDをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付の保証書はアフターサービスを受けるときに必要となります。大切に保管しておいてください。

目　次

使用上のご注意 ～必ずお読みください～

商標について 2
安全にかかわる表示について 3
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容 ... 4
安全上のご注意 5
正しく動作させるために 10
本書について 11
　はじめて取り扱うときの読み方 11
　本文中の記号について 12
その他 12
　第三者への譲渡について 12
　消耗品・製品の廃棄について 13
　製品寿命について 13
　保証について 13
箱の中身について 14

内蔵AITについて

特長 17
使用可能カートリッジおよび互換表 18
WORM（Write-Once Read-Many）
　データカートリッジ 19
各部の名称と機能 19
　製品前面 20
　製品前面（防塵カバーが開いているとき） ... 20
　製品背面 20
　製品底面 21
セットアップ 21
　ブラケットの取り外し、取り付け方法 21
　内蔵AITの設定
　　～ジャンパピンを使った設定～ 23
　内蔵AITの設定
　　～DIPスイッチを使った設定～ 25
　本体装置への取り付け 27
　バックアップソフト使用のご注意 29
　テープデバイスドライバのインストール ... 30
　テープデバイスドライバ（x64 Edition）の
　　インストール 39
ASR機能を使用する場合 45

取り扱い 46
AITデータカートリッジのセット 46
AITデータカートリッジの取り出し 48
LED表示 49
データのリード／ライト 49
クリーニング 50
リード／ライトヘッドのクリーニング 50
本体のクリーニング 51

AITデータカートリッジ（EF、N型番品）について

データカートリッジの各部の名称 52
使用・保管・運搬条件 53
ラベル 53
ラベル貼り付け位置 53
ラベルへの記入上の注意事項 54
ライトプロテクト 54
取り扱い上の注意事項 55
使用上のご注意 55
一般的注意事項 55
使用禁止基準 56
寿命 56
重要なデータの保存について 57
データの3世代管理について 57
データカートリッジの保管について 57
バックアップと惨事復旧手順の制定 57

仕　様 58
運用状況お客様記入シート 60
トラブルシューティング チェックリスト 61

内蔵AITについて

本製品のセットアップから取り付け、日常の取り扱い方法について説明します。

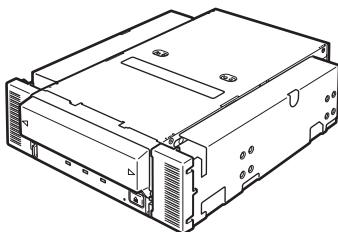
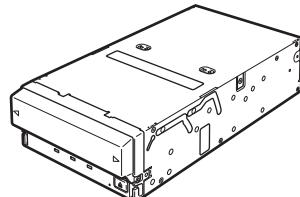
特長

本製品には、次のような特長があります。

- Advanced Intelligent Tape (AIT) フォーマットを使ってデータをデータカートリッジに大容量記録できます。
- データ圧縮機能により、次の容量をデータカートリッジに記録できます。

規格	AITカートリッジ(型番)	記憶容量(Gbyte)
AIT-5	EF-2435/N8152-11	約800 Gbyte
AIT-5 WORM	N8152-15	約800 Gbyte
AIT-3 Ex	EF-2434/N8152-01	約300 Gbyte
AIT-3	EF-2426	約200 Gbyte
AIT-3 WORM	N8152-16	約200 Gbyte

記憶容量は圧縮効率が2倍である場合の値です。圧縮効率はデータパターンにより変化し、記載の容量を下回る場合があります。

- AITデータカートリッジに記録されているデータが圧縮されているのか、されていないのかを自動判別しますので、従来の機器で記録したAITデータカートリッジのデータも、そのまま読み出すことができます。
- 出荷時は、ドライブ部の両端にブラケットが取り付けられている5.25インチデバイスですが、ブラケットを取り外すことにより、ドライブのみの3.5インチデバイスになります。

5.25インチデバイス実装タイプ(出荷時)　　3.5インチデバイス実装タイプ

使用可能カートリッジおよび互換表

本製品には、当社製AITデータカートリッジ(EF、N型番品)をご使用ください。当社製以外のAITデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーの原因となる場合があります。

使用可能カートリッジ一覧

カートリッジ ＼ ドライブ			N8151-75 (AIT-5) <本製品>	N8151-65A (AIT-3Ex)	N8151-54A/ N8151-61A (AIT-2 Turbo)	N8151-55A/ N8151-60A (AIT-1 Turbo)
タイプ	型番	ネイティブ容量*1				
AIT-5	N8152-11 EF-2435	400GB	○	−	−	−
AIT-5 WORM*2	N8152-15	400GB	○	−	−	−
AIT-3Ex	N8152-01 EF-2434	150GB	○	○	−	−
AIT-3	EF-2426	100GB	○	○	−	−
AIT-3 WORM*2	N8152-16	100GB	△	○	−	−
AIT-2 Turbo	N8152-10 EF-2431	80GB	−	○	○	−
AIT-2	EF-2423	50GB	−	△	○	−
AIT-2 Short	EF-2423S	36GB	−	△	○	−
AIT-1 Turbo	N8152-09 EF-2429	40GB	−	△	○	○
AIT-1 Long	EF-2420L	35GB	−	△	○	○
AIT-1	EF-2420	25GB	−	△	○	○
対応クリーニングカートリッジ			EF-3237W	EF-3237U	EF-3237J	

○：Write/Read 可能　△：Readのみ可能　−：使用不可

*1 **圧縮しにくいデータ、暗号化されたデータなどデータの種類によっては、圧縮機能によりネイティブ容量を下回る場合があります。**

*2 WORMについては、次項を参照ください。

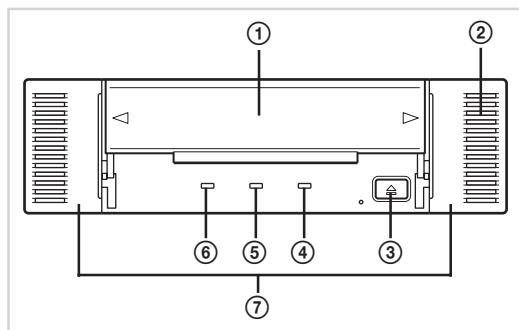
WORM(Write-Once Read-Many)データカートリッジ

テープへの書き込みでは追加書き込みはできますが、書き込んだデータの変更・消去はできません。電子文書など重要なデータを変更されないよう保存するのに適しています。なお、本カートリッジを使用するためには、バックアップソフトの制限があります。事前にご使用のバックアップソフトがWORMメディアに対応していることを確認してください。

各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能について説明します。

5.25インチデバイスベイ実装タイプと3.5インチデバイスベイ実装タイプ(ドライブ部のみ)の、各部の名称と働きおよび設定方法は、共通です。(以降、本書では、5.25インチデバイスの図を使用して説明します。)

製品前面

① **防塵カバー**

カートリッジ挿入口を保護するカバー(→46ページ)。

② **通風口**

(ドライブ部には通風口はありません。)

③ **EJECTボタン**

AITデータカートリッジを本製品から取り出すときに押す(→48ページ)。

④ REPLACE TAPE LED

AITデータカートリッジの交換を示すLED(→49ページ)。

⑤ CLEANING REQUEST LED

AITデータカートリッジのクリーニングを示すLED(→49ページ)。

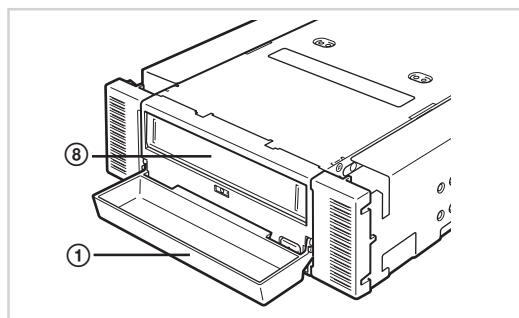
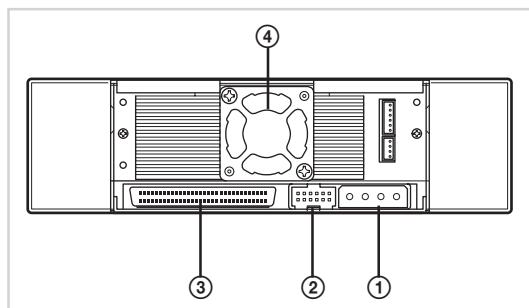
⑥ TAPE MOTION LED

AITデータカートリッジの状態を示すLED(→49ページ)。

⑦ **ブラケット**

⑧ **カートリッジ挿入口**

AITカートリッジをセットするスロット(→47ページ)。

製品前面(防塵カバーが開いているとき)

製品背面

① **電源コネクタ**

本体の内蔵DC電源ケーブルを接続する(→28ページ)。

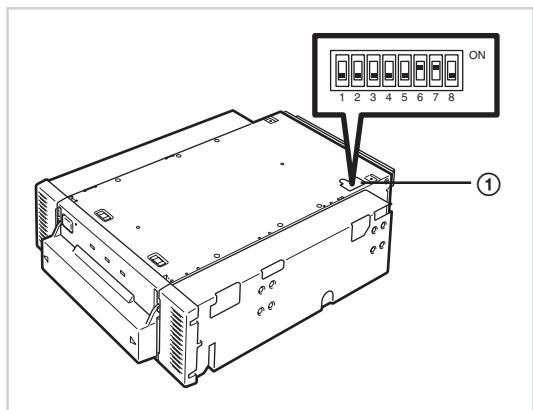
② **ジャンパピン**

内蔵AITの設定をするピン(→23ページ)。

③ **SCSIコネクタ**

本体の内蔵SCSIケーブルを接続する(→28ページ)。

④ **ファン**

製品底面

① DIPスイッチ

内蔵AITの設定をするスイッチ（→25ページ）。

セットアップ

本製品をExpress5800シリーズ製品などの「本体装置」に取り付けるまでの手順を説明します。

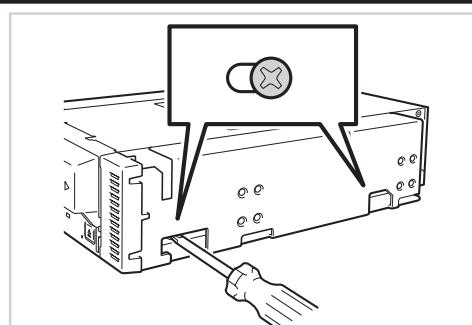
ブラケットの取り外し、取り付け方法

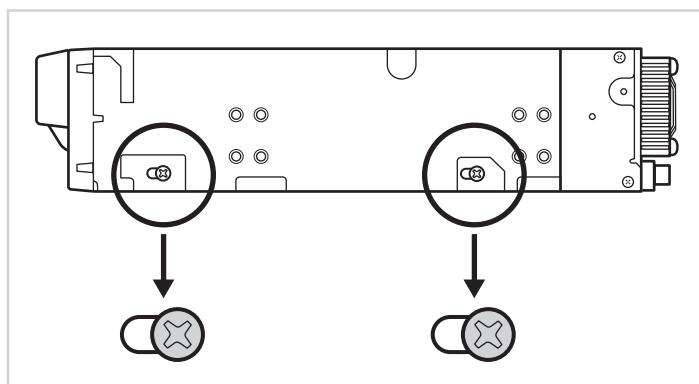
本製品を3.5インチデバイスで使用するときは、左右のブラケットを取り外します。

ブラケットの取り外し

プラスドライバを使ってネジを取り外すと、ブラケットが外れます。

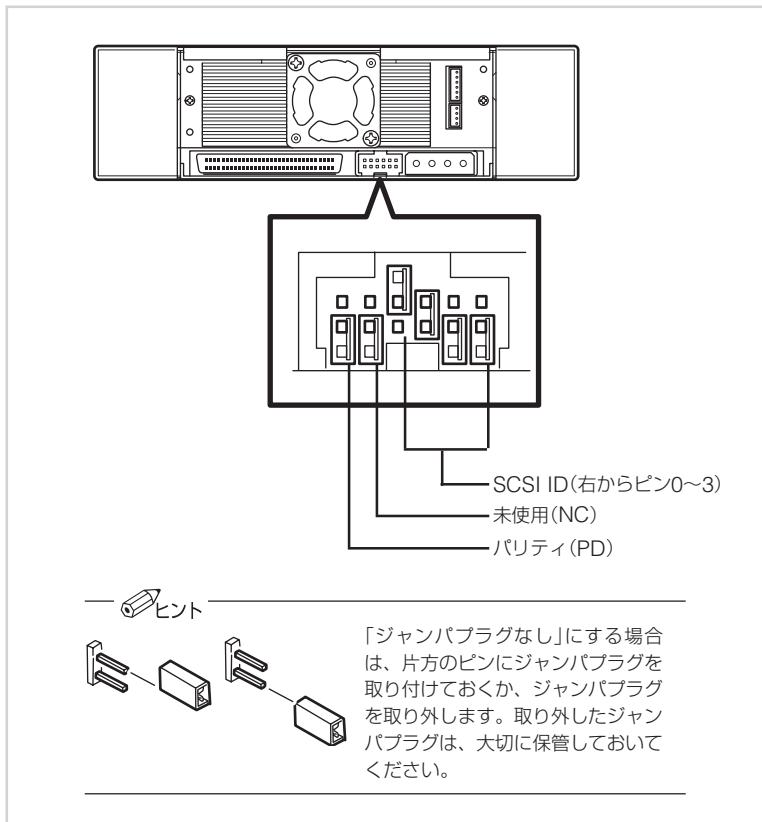
重要

- 取り外したブラケットとネジは、大切に保管しておいてください。
- このネジは、ブラケットを取り付けるときのみに使用します。このネジはミリネジ（長さ5.0 mm、ワッシャより下の長さ4.0 mm）です。このネジより長いものを使用すると故障の原因となります。

ブラケットの取り付け

本製品のネジ穴とブラケットの長穴の後部を合わせ、プラスドライバを使ってネジを取り付けます。

内蔵AITの設定　～ジャンパピンを使った設定～

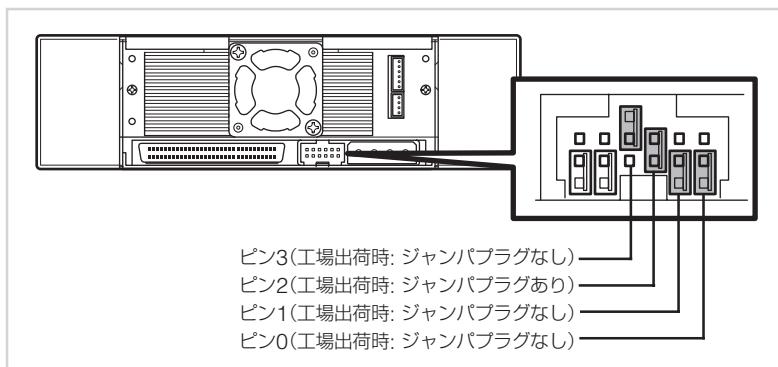
本製品の背面にあるジャンパピンでは次の設定を変更することができます。

- SCSI ID(工場出荷時の設定は「ID4」)
- パリティ機能(工場出荷時の設定は「有効」)

ヒント

ここでの「ジャンパプラグあり」とは、2つのピンにジャンパプラグを取り付けた状態をさします。また、「ジャンパプラグなし」はジャンパプラグをピンに取り付けていないか、2つのピンのうち、どちらか一方のピンにのみ取り付けられている状態をさします。

SCSI IDの設定

本製品が使用するSCSI IDを設定します。設定は背面にあるジャンパピンの「ピン0」〜「ピン3」の4本のピンを使います。

重要

他のSCSI機器とSCSI IDが重複していないことを確認してください。

SCSI ID	ピン3	ピン2	ピン1	ピン0
0	×	×	×	×
1	×	×	×	○
2	×	×	○	×
3	×	×	○	○
4*1	×	○	×	×
5	×	○	×	○
6	×	○	○	×
7*2	×	○	○	○
8	○	×	×	×
9	○	×	×	○
10	○	×	○	×
11	○	×	○	○
12	○	○	×	×
13	○	○	×	○
14	○	○	○	×
15	○	○	○	○

○ ジャンパプラグあり

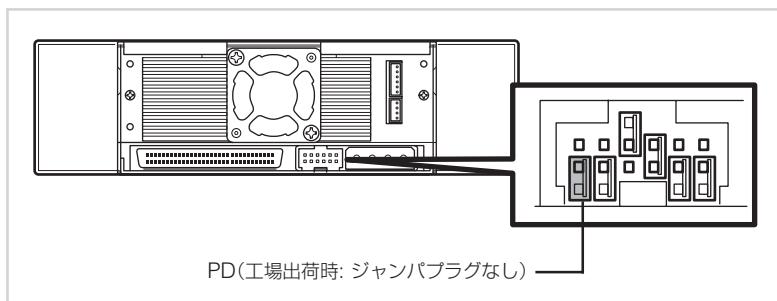
× ジャンパプラグなし

*1 出荷時の設定。

*2 SCSI IDをID7に設定しないでください。

パリティ機能の設定

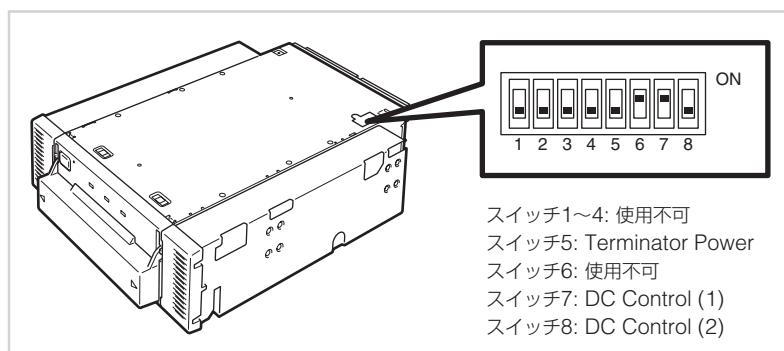
パリティ機能の設定を設定します。設定は背面にあるジャンパピンの一番左側のピンを使います。
ジャンパプラグなしにすると、パリティ機能は「有効」になります(工場出荷時の設定)。
ジャンパプラグありにするとパリティ機能は「無効」になります。

重要

信頼性を向上させるために、「有効(ジャンパプラグなし)」のままで使用してください。

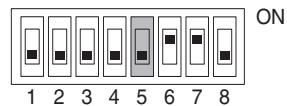
内蔵AITの設定　～DIPスイッチを使った設定～

本製品の底面にあるDIPスイッチでは次の設定を変更することができます。

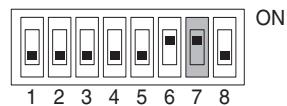
- Terminator Power(ターミネータ電源供給)(工場出荷時の設定は「OFF」)
- DC Control (1)(データ圧縮設定)(工場出荷時の設定は「ON」)
- DC Control (2)(データ圧縮設定)(工場出荷時の設定は「OFF」)

重要

使用不可のスイッチには触れないでください。

ターミネータ電源供給の設定　~Terminator Power~

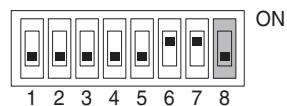
ターミネータ電源をSCSIバスに供給するか供給しないかを設定します。
設定はスイッチ5を使います。「ON」でターミネータ電源を供給する設定に、「OFF(工場出荷時の設定)」で供給しない設定になります。

本製品をN8541-28、N8141-28A/-28Bデバイス増設ユニットに搭載して、電源連動機能を使用する場合には、出荷時設定(OFF)のままにしてください。

データ圧縮の設定　~DC Control (1)~

本製品が持つデータ圧縮機能を有効にするか無効にするかを設定します。
設定はスイッチ7を使います。「ON(工場出荷時の設定)」でデータ圧縮機能を有効にする設定に、「OFF」でデータ圧縮機能を無効にする設定になります。

データ圧縮の設定　~DC Control (2)~

バックアップソフトからデータ圧縮の制御を有効にするか無効にするかを設定します。
設定はスイッチ8を使います。「ON」でバックアップソフトからのデータ圧縮制御を無効にする設定に、「OFF(工場出荷時の設定)」でバックアップソフトからのデータ圧縮制御を有効にする設定になります。

本体装置への取り付け

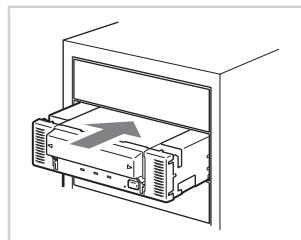
⚠注意

電源がONのまま取り付け・取り外しをしない

本製品の取り付け・取り外しの際や、ケーブルの接続の際は必ず主電源に接続しているACコードをコンセントから抜いてください。ACコードがコンセントに接続されたまま取り付け・取り外しや接続をすると感電をするおそれがあります。

本体装置機器等への設置方法例を以下に示します。

本体装置によってはレールを使用するものもあります。設置方法については、本体装置の取扱説明書も参照してください。

1. 右の図の位置にN8151-75内蔵AITを取り付けます。

重要

- 本製品にレールを取り付ける場合は、Fig. 1に示すフロントカバー側のネジ穴を使用してください(Fig. 2)。(反対側も同様に、片側2箇所、計4箇所をネジ止めしてください。)

  レールが、フロントカバー部のモールド部までくる場合がありますが、問題ありません。(Fig. 3)

  (レールの形状は本体装置により異なります。)

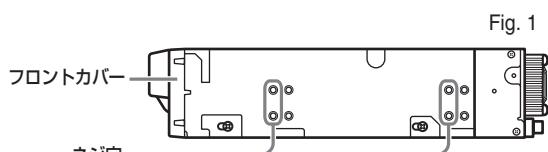
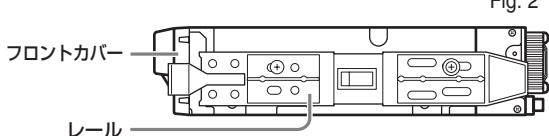
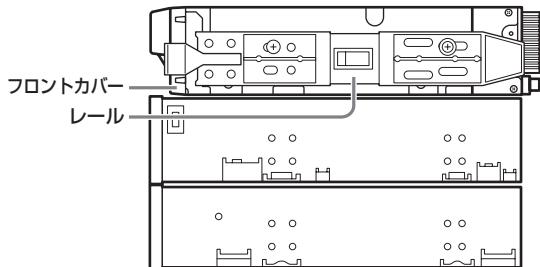
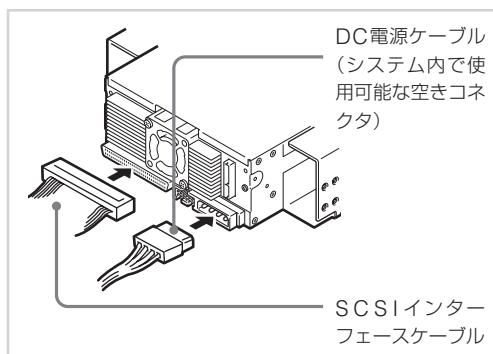



Fig. 3

- 5.25インチデバイスタイプ、3.5インチデバイスタイプのどちらの場合も使用するネジは同じです。
- 必ず本製品に添付されているネジを使って固定してください。本製品に添付のネジは、ミリネジ(長さ4.0 mm 、ワッシャより下の長さ3.0 mm)です。添付のネジより長いものを使用すると製品の故障の原因となります。

⚠ 注意

破損したケーブルを使用しない

ケーブルを接続する前にコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり、汚れたりしていないことを確認してください。破損や曲がっているコネクタおよび汚れたコネクタを使用するとショートにより火災を引き起こすおそれがあります。

2. 右の図のようにケーブルを接続してください。

重要

- 設置の際には、SCSI ID等の各設定の確認をお願いします。
- 本装置の出荷時のSCSI IDは 4 に設定されております。他のSCSI IDと重複しないように設定してください。
- 本装置には、ターミネータ機能はありません。本装置がSCSI接続の最遠端になる場合は、SCSIケーブルの末端にターミネータを取り付けてください。

3. 本体装置にカバーを取り付けて、ACコードをコンセントに接続する。
4. 本体装置の電源をONにする。
5. SCSIバスの設定が本体装置側でできる場合は、本製品について以下のように設定してください。
   - 転送レート :160 Mbyte／秒（最大、同期）
   - データバス幅 :16ビット（Ultra Wide SCSI、LVD/SE）
   - DISCONNECT/RECONNECT機能: 有効

バックアップソフト使用のご注意

NECのWeb情報ページである8番街（http://www.express.nec.co.jp）の「サポート情報」－「テクニカル情報（テクニカルガイド）」－「Express5800/100シリーズテクニカルガイド」にありますバックアップ装置の<バックアップ装置対応ソフトウェア>を確認してください。

問い合わせ先：webmaster@ace.comp.nec.co.jp

テープデバイスドライバのインストール

Windows 2000、Windows XPおよびWindows Server 2003の標準バックアップを使用する場合のみインストールしてください。
本体装置にテープデバイスドライバをインストールします。ドライバのインストールには、添付のCDを使用します。あらかじめ用意しておいてください。

x64 Editionをご使用の場合は、39ページを参照してください。

● Windows 2000でドライブをご使用のお客様

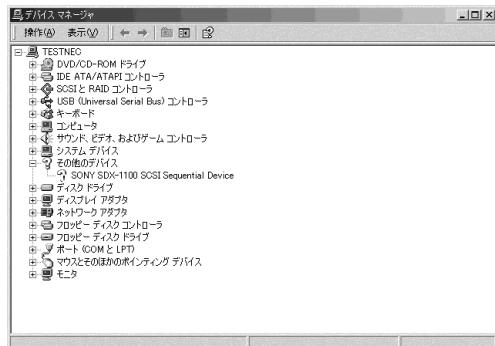
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントし、「コントロールパネル」をクリックして、「システム」をダブルクリックする。

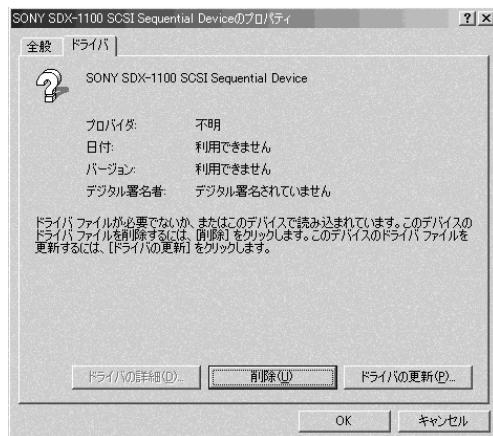
   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

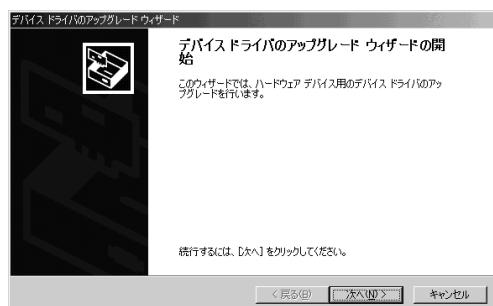
2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

   「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「その他のデバイス」に「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」と表示されていることを確認し、「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」をダブルクリックする。

   「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Deviceのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする。

「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されます。

5. 「次へ」ボタンをクリックする。

「ハードウェアデバイスドライバのインストール」画面が表示されます。

6. 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

「ドライバファイルの特定」画面が表示されます。

添付のCDを挿入します。

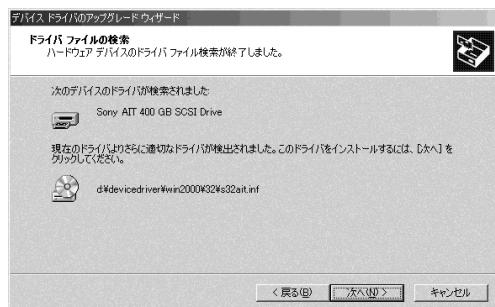
7. 「CD-ROMドライブ」にのみチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックする。

   「ドライバファイルの検索」画面が表示されます。

   ドライバファイルの検索が始まります。

8. 「d:¥DeviceDriver¥win2000¥32¥s32ait.inf」が選ばれていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックする。

   「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」画面が表示されます。
   (本書では、CD-ROMドライブがDドライブに割り当てられていますが、お客様の使用環境により異なります。)

9. [完了]ボタンをクリックする。

10. 「デバイスマネージャ」ダイアログボックスで、AITテープドライブユニットが表示されていることを確認する。

● Windows XPでドライブをご使用のお客様

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックして、「システム」をダブルクリックする。

   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

   「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「その他のデバイス」に「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」と表示されていることを確認し、「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」をダブルクリックする。

   「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Deviceのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする。

   「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。

5. 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

   「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

6. 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択し、CDを挿入して、「次へ」ボタンをクリックする。

   「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」画面が表示されます。

7. 一覧から「d:¥DeviceDriver¥xp¥32¥s32ait.inf」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

   「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されます。
   (本書では、CD-ROMドライブがDドライブに割り当てられていますが、お客様の使用環境により異なります。)

8. 「完了」ボタンをクリックする。

9. 「デバイスマネージャ」ダイアログボックスで、AITテープドライブユニットが表示されていることを確認する。

インストールしたテープデバイスドライバは、システムの再起動後に有効になります。

● Windows Server 2003 でドライブをご使用のお客様

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をポイントして、「システム」をクリックする。

   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

   「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「その他のデバイス」に「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」と表示されていることを確認し、
   「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」をダブルクリックする。

   「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Deviceのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする。

   「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。

5. 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

   次の「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。

6. 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、CDを挿入して、「次へ」ボタンをクリックする。

   「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んで下さい。」画面が表示されます。

7. 一覧から「d:¥DeviceDriver¥w2k3¥32¥s32ait.inf」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

   「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されます。
   （本書では、CD-ROMドライブがDドライブに割り当てられていますが、お客様の使用環境により異なります。）

8. 「完了」ボタンをクリックする。

9. 「デバイスマネージャ」ダイアログボックスで、AITテープドライブユニットが表示されていることを確認する。

以上でテープデバイスドライバのインストールが完了しました。

テープデバイスドライバ(x64 Edition)のインストール

Windows XP x64 EditionおよびWindows Server 2003 x64 Editionの標準バックアップを使用する方のみインストールしてください。
本体装置にテープデバイスドライバをインストールします。ドライバのインストールには、添付のCDを使用します。あらかじめ用意しておいてください。

● Windows XPでドライブをご使用のお客様

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックして、「システム」をダブルクリックする。

   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

   「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「その他のデバイス」に「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」と表示されていることを確認し、「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」をダブルクリックする。

   「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Deviceのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする。

   「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。

5.　「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

6.　「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、CDを挿入して、「次へ」ボタンをクリックする。

「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んでください。」画面が表示されます。

7.　一覧から「d:¥DeviceDriver¥xp¥64¥sx64ait.inf」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されます。
（本書では、CD-ROMドライブがDドライブに割り当てられていますが、お客様の使用環境により異なります。）

8.　「完了」ボタンをクリックする。

9. 「デバイスマネージャ」ダイアログボックスで、AITテープドライブユニットが表示されていることを確認する。

インストールしたテープデバイスドライバは、システムの再起動後に有効になります。

● Windows Server 2003 でドライブをご使用のお客様

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をポイントして、「システム」をクリックする。

   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

   「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「その他のデバイス」に「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」と表示されていることを確認し、
   「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Device」をダブルクリックする。

   「SONY SDX-1100 SCSI Sequential Deviceのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックする。

   「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。

5. 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

次の「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。

6. 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、CDを挿入して、「次へ」ボタンをクリックする。

「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んで下さい。」画面が表示されます。

7. 一覧から「d:¥DeviceDriver¥w2k3¥64¥sx64ait.inf」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。

「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されます。
（本書では、CD-ROMドライブがDドライブに割り当てられていますが、お客様の使用環境により異なります。）

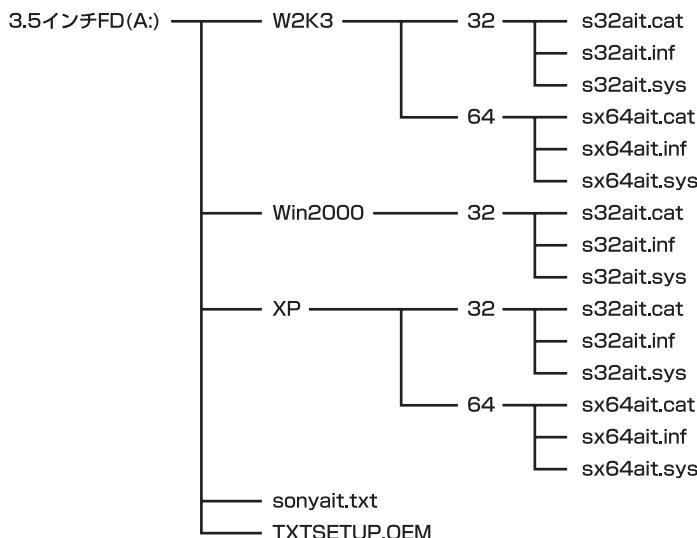
8. 「完了」ボタンをクリックする。

9. 「デバイスマネージャ」ダイアログボックスで、AITテープドライブユニットが表示されていることを確認する。

以上でテープデバイスドライバのインストールが完了しました。

ASR機能を使用する場合

WindowsのASR(Automated System Recovery*)機能を使用する場合は、フロッピーディスクからファイルを読み込んでデバイスドライバをインストールする必要があります。空のフロッピーディスクをご用意いただき、添付のCD内の「DeviceDriver」フォルダの配下にあるファイルをフロッピーディスクにコピーしてください。

フロッピーディスクを作成する際は、ファイルパスが重要になります。
「DeviceDriver」フォルダの下を下記の画面イメージになるようにコピーしてください。(「DeviceDriver」フォルダ自身は含みません)

*ASR(Automated System Recovery)
Windows XP、Windows Server 2003でサポートされている機能で、OSやシステム状態、ハードウェア構成、アプリケーションを保存し、災害から回復する過程において1ステップで復元することが可能です。詳しい使用方法等については、OS、バックアップソフトのマニュアルを参照ください。
Windows 2000はASR機能をサポートしておりません。

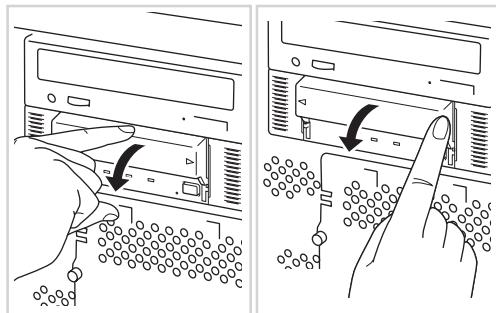
取り扱い

本製品の取り扱い方法を説明します。

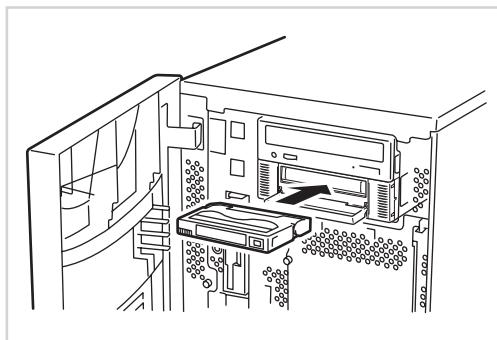
AITデータカートリッジのセット

重要

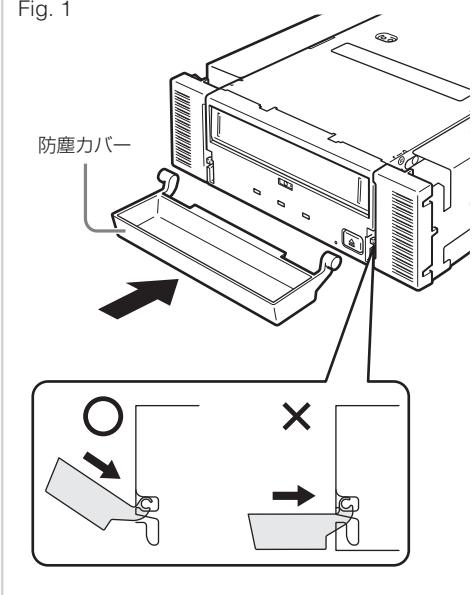
- 本製品にセットするデータカートリッジには、当社製の「AITデータカートリッジ」を使用してください。当社製以外のデータカートリッジを使用するとリード／ライトエラーを起こすことがあります。
- データカートリッジをセットしている間は、本体装置の電源をOFFにしないでください。誤動作やデータ破壊の原因となります。

1. 本体装置の電源をONにした後、本製品のREPLACE TAPE LEDとTAPE MOTION LED、CLEANING REQUEST LEDが消灯したことを確認する。
2. 防塵カバーを指で開く。

3. AITデータカートリッジを右図の向きにして本製品のデータカートリッジ挿入口に挿入する。

   ある程度挿入するとデータカートリッジは自動的に本製品内部にセットされ、TAPE MOTION LEDが点灯します。

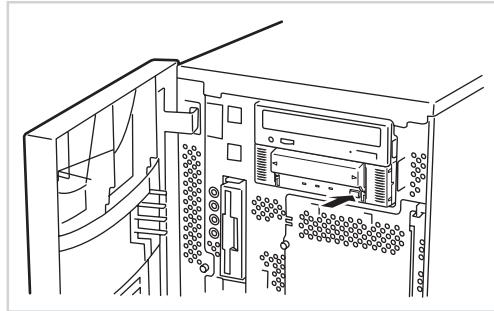
4. 防塵カバーを閉める。

重要

● 防塵カバーの取り付け

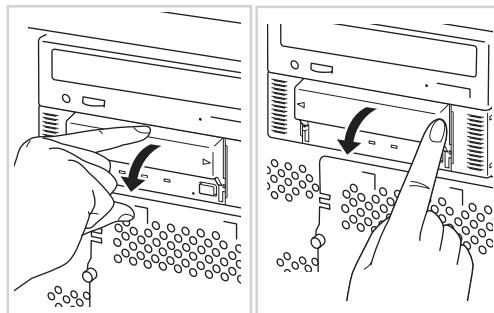
防塵カバーは破損防止のため、力が加わると外れる構造になっています。防塵カバーが外れた場合は、Fig. 1に示す矢印の方向に防塵カバーの両端を、片方ずつ、やや斜め上からまっすぐに押し、カチッと音がするまで押し込むことで取り付けることができます。

AITデータカートリッジの取り出し

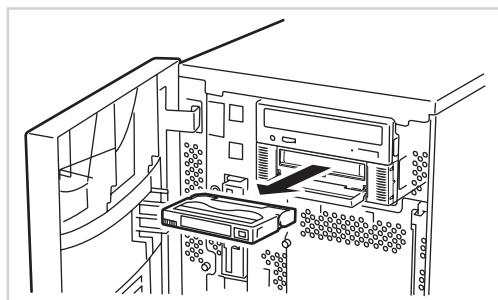
1. TAPE MOTION LEDが点滅していないことを確認する。

2. EJECTボタンを押すと、テープの巻き戻しが始まります(巻き戻しに数分かかる場合があります)。

   巻き戻しが終わるとデータカートリッジは自動的に製品内から排出されます。

重要

バックアップソフト、OSのロックにより、EJECTボタンを押してもカートリッジが排出されない場合があります。バックアップソフトによるカートリッジ排出、またはしばらく待ってからEJECTボタンを押してください。それでも排出されない場合は、EJECTボタンを一定時間(5秒〜10秒)押し続け、強制排出を行ってください。

3. 防塵カバーを指で開く。

4. データカートリッジ挿入口からデータカートリッジを取り出し、防塵カバーを閉める。

重要

- TAPE MOTION LEDが点灯、または点滅している間は、本体装置の電源をOFFにしないでください。誤動作やデータの破壊の原因となります。
- 本製品にデータカートリッジを挿入したまま移動しないでください。本製品の故障の原因となります。
- バックアップ完了後は、カートリッジを取り出してください。

LED表示

本製品前面にある3つのLEDで、本製品やAITデータカートリッジの状態を知らせます。

LED	TAPE MOTION	CLEANING REQUEST	REPLACE TAPE
消灯	データカートリッジがセットされていない。	本製品のクリーニングの必要はない。	データカートリッジにエラーは起きていない。
点灯	データカートリッジがセットされている。	本製品のクリーニングが必要である。	データカートリッジにエラーが起きている。
点滅(Slowly)	セットされているデータカートリッジが正常に動いている(Write/Read)。	ヘッドクリーニング中、クリーニングカートリッジのテープが終了した。	—
点滅(Fast)	セットされているデータカートリッジが正常に動いている(Write/Read以外)。	—	—
すべてのLEDが点滅(Fast)	本製品が故障している。		

点滅(Fast)　：0.3秒点灯／0.3秒消灯
点滅(Slowly)　：0.9秒点灯／0.3秒消灯

データのリード／ライト

AITデータカートリッジからのデータの読み込み(Read)、または書き込み(Write)の方法については、バックアップソフトに添付の説明書を参照してください。

クリーニング

本製品を良い状態に保つために、定期的にクリーニングをしてください。

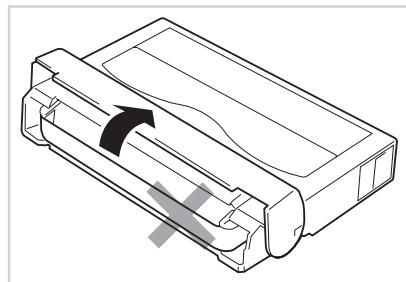
リード／ライトヘッドのクリーニング

CLEANING REQUEST LEDが点灯しているときは、本製品内部のリード／ライトヘッドを清掃してください。
添付のクリーニングカートリッジ(EF-3237W)を「取り扱い」の「AITデータカートリッジのセット」で説明している手順で本製品にセットします。

クリーニングカートリッジをセットすると自動的にヘッドのクリーニングが開始されます。

クリーニングが終了すると、自動的にクリーニングカートリッジが出てきます(開始から1分程度)。クリーニングカートリッジを取り出してください。

重要

- 本製品に使用できるクリーニングカートリッジは、「EF-3237W AIT インテリジェントクリーニングカートリッジ」です。「EF-3237J, EF-3237U AIT クリーニングカートリッジ」は使用できませんのでご注意ください。当社製以外のクリーナーを使用すると故障の原因となることがあります。
- クリーニングカートリッジのテープ面を手で触ったり、テープを巻き戻して使用したりしないでください。
- 「EF-3237U」は約80～250 回使用することができます。本製品はインテリジェント機能を有しており、使用テープによりクリーニング量・クリーニング時間を調整しています。通常の3倍のクリーニング時間を要する場合があります。本製品では、使い切ったクリーニングカートリッジを挿入した場合や、クリーニング中にテープが使い切られたために正常にクリーニングが終了しなかった場合でも、クリーニングカートリッジは自動的に排出されません。このような場合は、EJECTボタンを押して、クリーニングカートリッジを取り出してください。新しいクリーニングカートリッジを別途お買い求めください。

ヒント

リード／ライトヘッドは、1週間に1回、使用する前にクリーニングカートリッジで清掃することをお勧めします(使用している環境(チリやホコリの発生状況)や使用回数によって異なりますが、一般的な事務室などで毎日使用する場合、1週間に1回の清掃を目安としてください)。

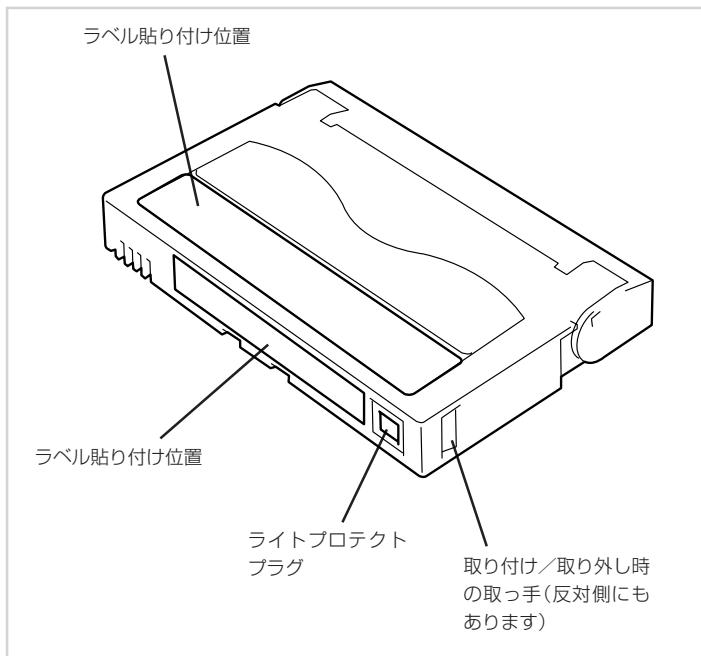
本体のクリーニング

本製品の外観が汚れたときは、やわらかい布に水または洗剤を含ませて軽く拭いてください。

ベンジン、シンナーなど(揮発性のもの)の薬品で拭くと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤をかけた場合も変形や変色の原因となることがあります。薬品が付着したら、早めに水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

AITデータカートリッジ(EF、N型番品)について

AITデータカートリッジの取り扱い方法について説明します。

データカートリッジの各部の名称

使用・保管・運搬条件

■ 使用条件

温度	10〜45℃
湿度	20〜80%(ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)
放置時間	使用および保管環境条件以外の環境にAITデータカートリッジがさらされていた場合には、使用および保管環境条件以外の環境にさらされていた時間より長く(最大8時間)使用環境になじませてから使用してください。温度勾配は最大10℃/時間とします。

■ 保管条件

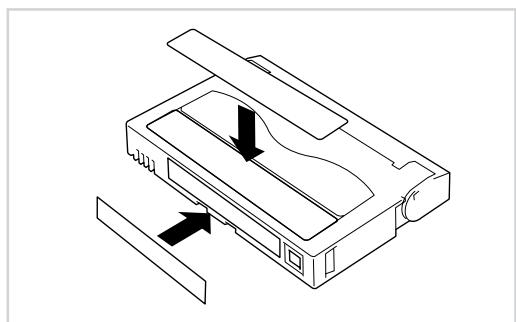
温度	5〜32℃
湿度	20〜60%(ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)
保管状態	AITデータカートリッジは、保護ケースに入れて、フタをして保管してください。置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

■ 運搬条件

温度	–40〜45℃
湿度	5〜80%(ただし、湿球の最高温度は26℃とします。)
温度勾配	最大10℃/時間
運搬状態	AITデータカートリッジを保護ケースに収納してください。輸送の場合には、AITデータカートリッジに力が加わらないように包装してください。

ラベル

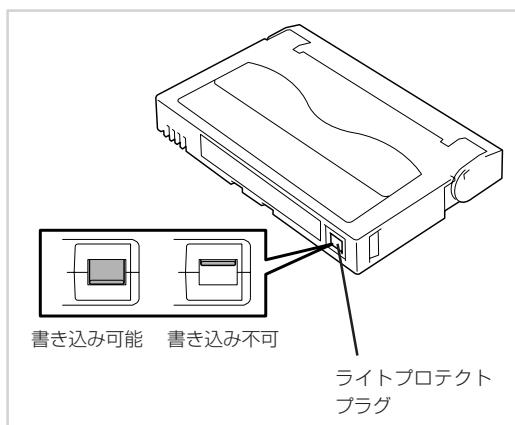
どのAITデータカートリッジにどのデータをバックアップしているかなどがすぐにわかるようにAITデータカートリッジにラベルを貼り付けておくことをお勧めします。

ラベル貼り付け位置

ラベルへの記入上の注意事項

- AITデータカートリッジの内容を表示するために用いるラベルは簡単に取り換えることができ、取り外した後に粘着物が残らないようなものを使用してください。
- 内容の表示を変更するときは、消しゴムで消さず、必ずラベルを貼り替えてください(INDEXラベルはAITデータカートリッジに添付されています)。
- ラベルを貼るときは、前項で指定された位置に確実に貼り、さらに取り換える場合は古いラベルを取り除いてから新しいラベルを貼ってください。
- 指定のINDEXラベル以外のものを使用する場合は、大きさが合ったものを使用してください。
- 添付のINDEXラベルには、使用開始年月日を記入してください。AITデータカートリッジの寿命をチェックする目安となります。

ライトプロテクト

ライトプロテクトプラグを右図のように設定すると、テープの内容が保護されます。

書き込んだデータを消去したくないときは、このプラグを「SAFE」側(書き込み不可)に設定してください。また、プラグを「REC」側(書き込み可能)に設定するとテープに書き込み可能となります。

取り扱い上の注意事項

使用上のご注意

使用する前

- 使用するAITデータカートリッジが、外的損害を受けていたり、または変形したり、曲がっているときは、使用しないでください。
- 製品の使用温湿度条件以外で保管されていたAITデータカートリッジを使用する場合は、使用温湿度条件以外にあった時間より長く（最大8時間）、使用環境に持ち込んでから使用してください。保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、一度に持ち込むのではなく、温度変化が1時間に10℃以下になるようにして、AITデータカートリッジを使用場所の温度になじませてください。

製品への装着

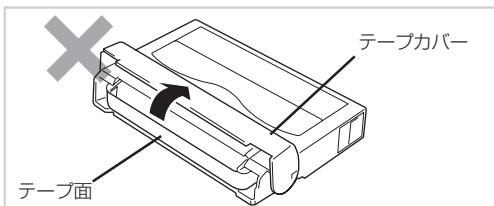
「AITデータカートリッジのセット」での説明に従ってAITデータカートリッジをセットしてください。AITデータカートリッジを取り出した後の保護ケースは、しっかりと閉じ、チリやホコリの少ない場所で保管してください。

使用した後

使用済みのAITデータカートリッジは、必ず保護ケースに入れてチリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

一般的注意事項

- テープに手を触れないでください。また、テープカバーを開閉しないでください。
- 磁気を発生するものを近づけないでください。
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。

- 強い衝撃を与えないでください。
- 飲食や喫煙をしながらの取り扱いは避けてください。また、シンナーやアルコールなどを付着させないように注意してください。
- 製品への挿入は、ていねいに行ってください。

使用禁止基準

以下の項目に該当する場合は、新しいAITデータカートリッジに取り替える必要があります。

- 落下させるなど強い衝撃を与え、AITデータカートリッジが損傷を受けた場合。強い衝撃を受けた場合、カートリッジが変形したり、欠けたりする場合があります。また、テープカバーが正常に開閉しなくなり、カートリッジが排出されないといった障害の原因となります。
- 清涼飲料、コーヒー、紅茶など液体、溶剤や金属粉、たばこの灰などで記録面が汚れている場合。

この状態でAITデータカートリッジを製品に挿入するとヘッドや製品を損傷したり、汚したりすることになり、製品の故障の原因となります。また、ヘッドの汚れやキズに気づかず、新しいAITデータカートリッジを製品に挿入すると、AITデータカートリッジを汚したり、傷つけたりして被害を広げることになります。

寿命

AITテープの寿命は、温度・湿度、ヘッドクリーニング回数などによって左右されます。毎日1回使用した場合は、使用開始より1年後、毎回使用していない場合でも、使用開始より2年後に交換をお願いします。また、エラーが頻繁に発生する場合は、その前に交換をお願いします。

AITデータカートリッジの寿命管理として下記の手順を実施していただくことをお勧めします。

- 新しいAITデータカートリッジに管理番号を割り当て、その番号をAITデータカートリッジのラベルに記入しておきます。
- AITデータカートリッジ管理台帳を作り、使用日を記録し、AITデータカートリッジの使用年数と使用回数を見積もります。
- 定期的にAITデータカートリッジの管理台帳と標識ラベルを調べ、長く使用されていたり、書き込み、読み取りエラーが発生するなど信頼性が低いAITデータカートリッジを廃棄します。

また、テープ磁性層は、化学物質で構成されており、時間経過と共に劣化します。

この劣化によるテープ寿命は、テープ保管の環境(温度・湿度)により大きく異なりますが、カートリッジを使用していない場合でもテープを購入してから約3年を目安に交換してください。

重要なデータの保存について

重要なデータまたはプログラムなどを保存する場合には、万一の場合に備えて、正副2巻に保存することをお勧めします。
また、保存する際にはバックアップソフトのベリファイ機能を利用し、保存したデータの確認も行うことをお勧めします。ベリファイ機能の利用方法については、各バックアップソフトの取扱説明書を参照してください。
こうしておけば、一方のテープがチリやホコリによるリードエラーを起こしても、もう一方のテープから復旧でき、大切なデータやプログラムの消失を防げます。

データの3世代管理について

ディスク上のデータを保存する場合は、保存したデータの3世代管理をお勧めします。
3世代管理は、テープ3巻（A、B、C）を使用して、ディスク上のデータを1日目はテープAに保存し、2日目はテープBに、3日目はテープCに保存していくものです。
これにより、例えば一巻のテープCがリードエラーを起こした場合には、データBを使用してデータを復旧でき、また、テープBがリードエラーを起こした場合でもテープAのデータを使用して大切なデータを復旧することができます。

データカートリッジの保管について

決められた保管条件を守り、保管場所を常に清潔に保ってください。
書き込みを禁止にしておくことをお勧めします。
長期間にわたって保管する場合は、常にバックアップデータが復旧可能であることを確認するため、定期的にデータの読み出しを行ってください。
万一の場合を想定してシステムから遠く離れた場所に保管しておくことをお勧めします。
正副2巻のデータカートリッジがある場合には、正、副それぞれを異なる場所に保管しておくとさらに効果的です。

バックアップと惨事復旧手順の制定

バックアップ方法を定めるときは、常に惨事復旧を想定したスケジュールを組んでください。バックアップ・リストアの正しい手順を制定することが、バックアップの運用の第一歩です。惨事復旧の手順を確立し、正しく運用されることを定期的に確認してください。

仕　様

本製品の仕様について記載します。

■ 性　能

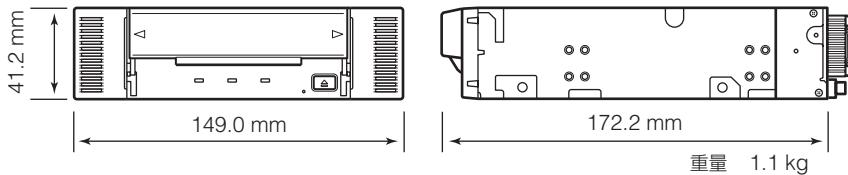
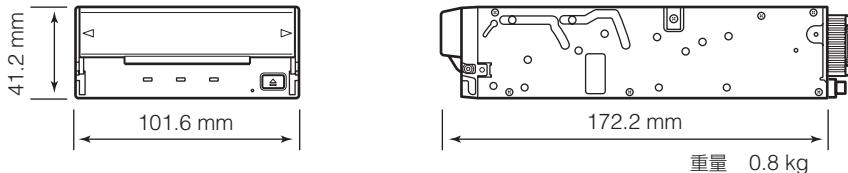
項目	内容
記憶容量	• 400 Gbyte(圧縮時：800 Gbyte) EF-2435/N8152-11使用時 • 150 Gbyte(圧縮時：300 Gbyte) EF-2434/N8152-01使用時 • 100 Gbyte(圧縮時：200 Gbyte) EF-2426使用時 圧縮時の値は圧縮効率が2倍である場合の値です。 圧縮効率はデータパターンにより変化し、記載の容量を下回る場合があります。データの種類によっては記憶容量がネイティブ容量を下回る場合もあります。ネイティブ容量、使用可能カートリッジについては「使用可能カートリッジ一覧」(18ページ)を参照してください。
ビットエラーレート	10^{-17}以下
データ転送速度(TAPE)	• AIT-5：24 Mbyte／秒(非圧縮時) • AIT-3 Ex：18 Mbyte／秒(非圧縮時) • AIT-3：16 Mbyte／秒(非圧縮時) データ転送速度は接続しているサーバのシステム環境により変化します。
バーストデータ転送速度(SCSI)	160 Mbyte／秒(最大、同期) 接続環境によっては、160 Mbyte／秒に設定できない場合もあります。
イニシャライズ時間	7秒未満
ロード時間	平均40秒　EF-2426使用時 平均14秒　EF-2434/N8152-01、EF-2435/N8152-11、使用時
アンロード時間	平均24秒　EF-2426、EF-2434/N8152-01、EF-2435/N8152-11使用時
巻き戻し時間	平均115秒　EF-2434/N8152-01、EF-2435/N8152-11使用時 平均105秒　EF-2426使用時 リトライ処理が発生した場合は上記秒数を超える場合があります。

■ 環境条件

使用時	温度: 10℃〜35℃ 湿度: 20%〜80%(結露なきこと) 最大湿球温度: 26℃
非動作時	温度: −40℃〜70℃ 湿度: 5%〜95%(結露なきこと)

■ 電源仕様

電圧	5 V±5%	12 V±10%
電流(Typ.)	1.7 A	0.87 A
電流(Max.)	2.5 A	3.0 A

■ 寸法・重量

運用状況お客様記入シート

本製品を保守・管理する際に必要な情報を記録しておくメモ欄です。

項目	記入欄
本体装置モデル名	
オペレーティングシステム（OS）（名称、バージョン、サービスパック／パッチの適用状況）	
バックアップソフト（名称、バージョン、サービスパック／パッチの適用状況）	
SCSIバス構成（SCSI ID／同一バス上のデバイス）製品設置環境	
製品設置環境（温度、湿度、ホコリの状況など）	
カートリッジ種類（メーカ名、EF型番）	
クリーニングカートリッジ種類（メーカ名、EF型番）	
クリーニングカートリッジ使用状況（クリーニング周期、使用回数や使用開始月の管理方法など）	
カートリッジ使用状況（使用回数や使用開始月の管理方法など）	
カートリッジの管理状況	

トラブルシューティング チェックリスト

本製品が思うように動作しない場合は、修理に出す前に以下のチェックリストの内容に従って、本製品をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、処置に従ってください。

項番	症状	内蔵型 外付型	処置
1	□ ドライブの電源が入らない。 □ LEDが点灯しない。	内蔵型	□ ドライブにDCケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 □ 集合型ドライブでは電源コネクタを2カ所持っているものがあります（専用のDCケーブルが必要なドライブがあります）。取扱説明書を確認して正しく接続されていることを確認してください。 □ DCケーブルの接触不良が無いか、挿抜して確認してください。
		外付型	□ ドライブにACコードが正しく接続されていることを確認してください。 □ ACコードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。
2	□ システム起動時にドライブが正しく認識されない。	内蔵型 外付型	□ ドライブにSCSIケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 □ SCSIケーブルが正しくSCSI I/F（SCSIボードのコネクタ、MBのコネクタなど）に接続されていることを確認してください。 □ 同一SCSIバス上の他のドライブとSCSI IDが同じではないか確認してください。 → 同じSCSI IDのドライブがある場合、どちらかのIDを使われていない番号へ変更してください（“7”はホスト側が使用しているため、割り当てないでください）。

項番	症状	内蔵型 外付型	処置
2	□ システム起動時にドライブが正しく認識されない。	内蔵型 外付型	□ 終端抵抗が正しく接続・設定されていることを確認してください。 → 終端抵抗はSCSIバスの両最遠端に接続されている必要があります。 ・ 最遠端がケーブル(コネクタ)の場合、終端コネクタが接続されていることを確認してください。 ・ 最遠端が内蔵型ドライブの場合、ドライブの終端抵抗設定がONとなっていることを確認してください。 ・ 最遠端が外付型ドライブの場合、終端コネクタが接続されていることを確認してください。 ・ 最遠端がSCSIボード(MB)の場合、SCSI BIOSなどで正しく設定されていることを確認してください(それぞれの取扱説明書を参照してください)。 ・ 最遠端でないドライブの終端抵抗がONとなっていないことを確認してください。 □ PINタイプのSCSIコネクタの場合、PIN折れが発生していないか確認してください(内蔵型50pinのドライブ側、内蔵／外付68pinのケーブル側、外付型50pin[PINタイプ]のケーブル側など)。 → 折れたPINを元に戻して使わずに、ドライブあるいはケーブルを交換してください。 □ SCSI BIOSの設定が正しいか確認してください(取扱説明書に設定方法がかかれている場合は参照してください。SCSI BIOSが変更できないものもあります)。 □ システム構成上、正しい位置に接続されているか確認してください。
3	□ OS起動後にドライブが正しく認識されない。(システム起動時は正しく認識されていた。)	内蔵型 外付型	□ デバイスドライバが正しくインストールされているか確認してください。 → 自動的にインストールされる場合と、手動でインストールする必要のある場合があります。またデバイスドライバが製品に添付されている場合があります。取扱説明書を参照してください。 □ デバイスドライバが正しく起動されているか確認してください。

項番	症状	内蔵型 外付型	処置
4	□ 正しくテープを認識しない。 □ 正しくバックアップができない。 （バックアップソフトはドライブを正しく認識している。）	内蔵型 外付型	□ クリーニングテープでヘッドのクリーニングを行ってください。 □ データテープを新品と交換してください。 □ 正しいデータテープを使用しているか確認してください。 → ・ DDS2ドライブにDDS3テープを使用していないか、などのドライブとテープの組み合わせは正しいか確認してください。 ・ 動作保証のされたテープ（EF型番テープなど）を使用しているか確認してください。 ・ 寿命に達したテープを使用していないか確認してください。 ・ エラーの発生していたテープを使用していないか確認してください。 □ SCSIケーブル、コネクタ、終端抵抗等の接続に問題がある可能性があります。 → もう１度接続を確認してください。 □ 温度・湿度の異なる環境から持ち込んだドライブは、使用環境に十分馴染んでいない場合があります。環境の馴染ませを行ってから使用してください。 □ 空調管理の行われていない環境でシステム起動直後にバックアップを行うと、ドライブが環境に十分馴染んでいない場合があります。環境に十分馴染んでからバックアップするように運用の変更を行ってください（夜間のシステム起動・バックアップ開始などで発生しやすい）。
5	□ 正しくバックアップができない。 （バックアップソフトがドライブを正しく認識していない。）	内蔵型 外付型	□ バックアップソフトが正しくインストールされているか確認してください。 □ SCSIバス上の他のデバイスとIDが重複していないか確認してください。 □ ソフトウェア同士の競合が発生していないか確認してください。 → 同時に使用できないデバイスドライバが組み込まれている場合に片方のドライバを外す必要のある場合があります。詳しくはソフトウェア側の説明書を参照してください。 □ SCSIケーブル、コネクタ、終端抵抗等の接続に問題がある可能性があります。 → もう１度接続を確認してください。

項番	症状	内蔵型 外付型	処置
6	□ 正しくバックアップができない。 （LEDが点滅している、LCDにエラーを表示している。）	内蔵型 外付型	□ 取扱説明書にLED・LCDの表示に関する説明がある場合は、それを参照してください。 → ・ クリーニング要求の出ている場合は、クリーニング実施後にバックアップを行い、再発するようであればデータテープの交換を行ってください。 ・ エラー表示（ERRxxなど）の出ている場合は、ドライブに何らかの不具合を生じていることが考えられるため、ドライブの交換を行ってください。
7	□ テープが取り出せない。 （データテープの場合）	内蔵型 外付型	□ バックアップソフトで自動排出を設定したにも関わらず排出されない場合は、正しくバックアップができていないことが考えられます。 → 項番4〜6を参照してください。 □ ドライブのEJECTキーを押下してもテープが排出されない場合は、バックアップソフトによるソフトウェア的なロックのはたらいていることが考えられます。 → ・ ソフトウェアを終了させてください。 ・ システムを再起動してください。 ・ 電源のOFF/ONを行ってください。 □ ドライブが何らかの不具合を検出して排出させないようにしていることが考えられます。 → ・ EJECTキーを一定時間（5秒または10秒）以上押下し続けることで強制排出されるドライブがありますので、これを行ってください。強制排出の手順に従い、手動で取り出すことをお勧めします。 ・ システムを再起動してください。 ・ 電源のOFF/ONを行ってください。 □ テープがドライブ内部で絡まっていること（テープジャム）が考えられます。（EJECTボタンを一定時間以上押しても排出されない場合） → ・ テープジャムを起こしたドライブは、内部のヘッド・ドラム・各ガイドピンなどを傷めていることが考えられるため、ドライブ交換を行ってください。

項番	症状	内蔵型 外付型	処置
8	□ テープが取り出せない。（クリーニングテープの場合）	内蔵型 外付型	□ 使い切ったクリーニングテープを挿入した場合、あるいはクリーニング中に使い切ったため正常にクリーニングが終了しなかった場合に、それを知らせるためにクリーニングテープが排出されないドライブがあります。 → EJECTキーを押下してクリーニングテープを取り出し、新しいクリーニングテープでクリーニングを再度行ってください。 □ テープがドライブ内部で絡まっていること（テープジャム）が考えられます。（EJECTボタンを一定時間以上押しても排出されない場合） → ・ テープジャムを起こしたドライブは、内部のヘッド・ドラム・各ガイドピンなどを傷めていることが考えられるため、ドライブ交換を行ってください。
9	□ マガジンが排出されない。（集合型の場合）	内蔵型 外付型	□ TAPE MOTION LEDが点滅していないか確認してください。 → テープの読み取りに時間がかかっている可能性があります。テープの読み取りが終わるまでお待ちください。読み取りエラーが発生した場合はテープを交換してください。
10	□ テープが排出される。（データテープの場合）	内蔵型 外付型	□ 正しいデータテープを使用しているか確認してください。 → ・ DDS2ドライブにDDS3テープを使用していないか、また、AIT-1ドライブにAIT-2テープを使用していないかなど、ドライブとテープの組み合わせは正しいか確認してください。 ・ 動作保証のされたテープ（EF型番テープなど）を使用しているか確認してください。 ・ 寿命に達したテープを使用していないか確認してください。 ・ エラーの発生していたテープを使用していないか確認してください。 □ ヘッドが汚れている可能性があります。 → ヘッドが汚れていた場合、書き込み／読み取り時に失敗しテープを排出する場合があります。クリーニングを行ってください。
11	□ テープが排出される。（クリーニングテープの場合）	内蔵型 外付型	□ クリーニングテープが使い切っている可能性があります。 → 新しいクリーニングテープに交換してください。